

平成 25 年 4 月 19 日

## 4 月の木材価格・需給動向

### 1. 国産材(北関東)

栃木の丸太は順調な生産が続き入荷は平年を上回る。荷動きは堅調だったスギ柱材の引合いに一服感。ヒノキは柱材の引合い弱く、低調だった中目材が好転。価格は製品価格の値上がり分が原木価格に転嫁されない状況続く。スギ柱材は横這い、中目材は弱保合。ヒノキは柱材・中目材とも引続き堅調。群馬の製材工場の操業状況はやや不振。原木の入荷はスギ、カラマツともに少なめ。全体的に 1~3 月の売上げは対前年比で大幅に伸びたが、自社製品は横這いで依然厳しい状況。今年度は木材利用ポイント精度と県単事業との併用で需要の伸びに期待。カラマツ材は合板の買い意欲が旺盛で価格上昇中。

### 2. 米材

2 月の米国新設住宅着工は、前月比 0.8%増の年率 91.7 万戸で、前年同月比で 27.7%の増。米国丸太の価格は、前月同様住宅着工回復に伴う丸太需要の増加と、中国の買いの継続により強含み。カナダ丸太も同様に、オールド、セカンドともに強含み。産地の港頭在庫は、出庫が順調で 3 月末は減少の模様。ウェアハウザー社の 4 月積み米マツ IS ソートは前月比 30 \$ アップ。米材丸太の入・出荷、在庫ともに横這い。国内大型港湾製材工場の荷動きは引続き好調。内陸部製材工場の荷動きはバラツキはあるが総じて低調。製材品の TLT(東京木材埠頭) 3 月入荷量は 76.7 千<sup>3</sup>m で、前月比 0.3%減。出荷量は 81.3 千<sup>3</sup>m で同 4%増、在庫は同 2%減。産地情勢は、需給の引締まった状況が続いており、春需を迎え一層のタイト感強まる。産地価格は、大幅上昇が続き、R L 誌指標価格が 450 \$ を突破。歴史的な高値を目指しつつある。年度末に向けてやや落ち着いた感もあるが、引続き需要は旺盛で、全樹種で順調な荷動きが続き値上げ傾向。

### 3. 南洋材

サバは、天候回復と輸出・合板需要の好転により、原木の出材は活発になりつつある。一部の国々の製材品マーケットが若干回復していることで、大手工場の在庫は回復したが、その分原木価格は、高値で維持されており、製材工場側も極端な値下げ要請には応じていない。サラワクは雨季明けに伴い、出材は回

復。但し、サバ同様に原木価格は輸出や合板市場の回復を受けて値下げは進まず、製材工場は製品に転嫁せざるを得ないため、バイヤーの値下げ要請には応えられない状況。PNG・ソロモンは天候回復が遅れ、出材の低迷と滞船問題で原木は強含み。南洋材丸太の入・出荷は横這い、在庫は減少。原木の販売は合板用、製材用とも変わらず。製材品は各商品とも値上がりが続いているものの、春需を見越した問屋筋の買入れは堅調。特に、集成材は在庫薄も重なり売れ行き堅調。

#### 4. 北洋材

ロシア極東は順調な出材だが、ワニノ港が鉄鋼系会社を買収され、木材積み出しはソフバガニヘシフト。3月に入って中国からの引合い強まり、エゾマツ、カラマツが急騰。契約済みまで価格改定をシッパーから依頼したケースもある模様。シベリア地方は現地輸出枠発給が再開するも、依然混乱の余波が残り、シベリア材は軒並み輸出数量が昨年比激減。急激に改善される見通しがなく、日・中とも代替材対策が急務。富山新港の3月丸太入荷量は19千 $m^3$ （エゾマツ15千 $m^3$ 、アカマツ4千 $m^3$ ）、製品は8千 $m^3$ 。価格動向は、丸太・製材品とも入荷不足と急激な円安で強含み続く。国内挽き製材品も原版価格が値上がり。荷動きは丸太、製材品とも順調。在庫状況は1ヶ月位。国内製材工場の採算状況はエゾマツ、アカマツとも不採算。稼動状況は原木・原版の入荷減少で生産調整。

#### 5. 合板

米材丸太は米国の好景気により価格上昇。南洋材は雨季の影響が続く強含み。国産材はメーカーが針葉樹合板の増産を予定しているため強含み。2月の国内合板生産量21.5万 $m^3$ のうち、針葉樹合板は19.7万 $m^3$ 。寒気で生産性が悪く、需要背景もあり多目の生産。在庫量も13.6万 $m^3$ とかなりの低水準。販売価格は仮需も一服し、今後の需要に不透明感はあるもののメーカーは強気で、今後も強含みで推移すると予測。国産針葉樹合板の混乱は、着実に解消に向かっているが、出荷は好調で一部地域では、未だデリバリーが付きづらい状況。価格も相変わらずジリ高で推移。輸入合板はここに来て荷動きに一服感も出てきているが、価格面では下がる気配がなく、強気な状況が続く。先行き針葉樹合板、輸入合板ともに仮需は一服し、買い控えも予想される。輸入合板の先高感はあるものの、需要の盛上りが待たれる状況。流通在庫は全般に玉不足も解消に向かっており、潤沢になりつつあるが、一部地域で針葉樹合板の不足が見られる。品薄品目は針葉樹合板のほか輸入12mm合板も不足気味であるが、解消に向かっている模様。

## 6. 構造用集成材

原料は順調に入港。現地の原木状況も問題なし。価格高騰により新たなサプライヤーが出現し、製造中止していたメーカーも再稼働する動き。価格は上昇基調は変わらず、第3四半期積み契約が頂点か。対ユーロ為替レートの変動を注視。国産集成材は、受注・販売・荷動きのいずれもが引続き良好で在庫は少ない。輸入集成材は、4~6月積みが決まり、現地での船積みが始める。輸入梁で65,000円/m<sup>3</sup>付近の着ベースになるもの多い。ハウスメーカー、プレカットメーカーの大手は受注好調だが、地場工務店の受注は厳しく、業況は二極化。消費税の駆込み需要は、現時点では見られないとの意見多い。

## 7. 市売問屋

国産材の構造材は、スギ柱角（10.5cm、12.0cm）の動きは順調だが、入荷少なく在庫調整が進む。間柱も品薄で回転良い。造作材は、リフォーム関連の動きが良く、スギ、ヒノキ内部造作材と建具用材の需要が増。外材の構造材は、米ツガ、米ヒバの丘物に不足感は無いが引合い多い。内地挽き米ヒバ土台角、米ツガ割物も動き良し。造作材はスプルー、ピーラー、米スギの良材が依然入荷少なく、対応に苦慮。市場への来場者がこのところ少しづつ増えているが、これは需要への対応というより、荷動き、価格、在庫等の状況の様子見が多いと思われる。春需の本番を向かえるが、今のところ際立った動きは感じられない。

## 8. 小売

国産材の構造材はスギKD柱、小割、板割、ヒノキKD柱、土台いずれも保合。外材は米ツガKD平割、正角、ロシアアカマツ垂木ともに強保合、WW間柱、SPF2×4材も強保合。造作材はスプルー、ナラ、タモの平割良材少なく引続き強保合。WW、RW集成材は梁、柱とも強保合。合板は針葉樹、ラワンともに強保合で一時的品薄はない。床板、フローアは一部メーカー製品の80%で値上げ。プレカット工場の動向は、工務店からの見積り多く、多少の時間かかる。加工は順調だが、120mm厚の構造材が逼迫。リフォーム、新築は引続き良好で、先月は木材、建材が価格高騰と品薄で急ぎの玉の手配に苦慮。

4月の需給・価格動向

1. 主要外材入出荷在庫量

		入荷量	出荷量	在庫量
米材	丸太	→	→	→
	製材品	↗	↗	→
北洋材	丸太	→	→	↘
南洋材	丸太	→	→	→
	製材品	→	↘	↘

矢印の表示は今月に対する翌月の動向を、下記のように示したものである。

- ↑ 急増・急上昇
- ↗ 増加・上昇
- 横ばい
- ↘ 減少・低下
- ↓ 急減・急落

2. 合板供給量

国内製造量	輸入量		
	計	インドネシア	マレーシア
→	→	→	→

3. 価格動向

樹材種	形状	取引条件	樹種・寸法等	動向
国産材	丸太	卸売価格 (北関東、県内産 市場土場渡し)	スギ柱材(3m) 2等	→
			スギ中丸太(3.65m) 2等	→
			ヒノキ柱材(3m) 2等	→
			ヒノキ中丸太(4m) 2等	→
	製材品 (関東近県産 板は東北産)	首都圏・市売り 価格	スギ柱角 10.5×10.5×3m 特等	→
			スギ柱角 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ柱(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→
			スギ加工板 1.3×18.0×3.65m 特等	→
			スギ間柱 10.5×3.0×3m 特等	→
			スギタルキ 3.0×4.0×4m	→
		ヒノキ柱角(KD) 12.0×12.0×3m 特等	→	
		ヒノキ土台角 12.0×12.0×4m 特等	→	
米材	丸太	産地価格	米マツ ISタイプ	↗
		国内卸売価格 (京浜・オントラ)	米マツ カスケード(カナダ産)	↗
			米マツ ISタイプ コースト	↗
	製材品 (カナダ産・ 現地挽き) (国内挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	米ツガ桁角(KD) Std&Btr S4S 10.5×10.5×4m	↗
			米マツ桁角(GR) Std&Btr S4S 4・1/8'' 13'	↗
			米ヒバ土台角(GR) Std&Btr 4・13/16'' 13'	↗
		米マツ平角(KD) 特等 10.5×24.0×4m	↗	
南洋材	丸太	産地価格	メランティレギュラー	→
		東京・水面筏 渡し価格	メランティレギュラー 60cm上、4m上 製材用	→
		メランティレギュラー 60cm上、4m上 合板用	→	
	製材品	産地価格	ホワイトセラヤ 平割(サバ州産)	→
東京・問屋店頭 渡し価格		同上2.4cm×込み×4m 定尺1等	→	
北洋材	製材品	国内卸売価格 (東京問屋着値)	エゾマツ(3.0×4.0×3.8m) 特等	↗
			アカマツ(3.0×4.0×4m) 特等	↗
			カラマツ(10.5×10.5×4m) 特等	-
欧州材	製材品 (現地挽き)	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 間柱 2.7×10.5×3m S4S FOHC	↑
			ホワイトウッド ラミナ 2.4×11.0×3m上 ラフ乱尺	↗
集成材	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	ホワイトウッド 無化粧 JAS 5プライ	↑
	欧州産	〃	スギ 無化粧 10.5×10.5×2.98m	↗
合板	国産	東京・問屋店頭 渡し価格	タイプ2 F☆☆☆☆ 2.3mm厚 3×6	↗
			タイプ2 F☆☆☆☆ 4.0mm厚 3×6	↗
			型枠 12.0mm厚 3×6	↗
			針葉樹構造用 12.0mm 3×6 F☆☆☆☆	↗